

会 議 録

- 1 会議名 平成 28 年度第 2 回上越市スポーツ推進審議会

- 2 議題（公開・非公開の別）
協議事項 (公開)
 - ①平成 29 年度体育課の取組方向について
 - ②平成 29 年度体育関係施策・予算の考え方について
 - ③ジュニアトップアスリートの育成強化策について
 - ④重点と評価の視点
 - * 第 2 次上越市教育総合プラン基本施策 7
 - ・アンケート調査への意見と体育課の回答
 - ・改訂版「第 2 次教育総合プラン」基本施策 7
 - ⑤その他
 - * ドイツ体操連盟との東京オリンピック・パラリンピック競技大会における「事前キャンプに関する覚書の締結」について

- 3 開催日時 平成 28 年 11 月 17 日（木）午後 3 時 30 分から 5 時まで

- 4 開催場所 上越市教育プラザ 研修棟 中会議室

- 5 傍聴人の数 0 人

- 6 非公開の理由 なし

- 7 出席した者 氏名（敬称略）
委 員：上野裕文、今井英一郎、有澤真理子、倉石義行、山岸由美子、白砂弘、
岡本猛男、松井和代、西澤澄男、深石圭
事務局：佐藤課長、石澤参事、白石副課長、近藤係長、佐久間生涯スポーツ指導員

- 8 あいさつ
【倉石委員長】
本日の審議会につきましては、平成 29 年度の市としての取組方針、更には第 2 次上越市教育総合プランに関する協議になります。皆様忌憚のないご意見をいただきながら進めていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

9 議題

- (1) 「平成 29 年度体育課の取組方向」について、佐藤課長が資料 1 に基づき説明。
- (2) 平成 29 年度体育課体育関係施策・予算の考え方について、近藤係長が資料 3 の 1 に基づき説明した後、石澤参事が資料 3 の 2 に基づき説明。

【上野委員】

全国柔道大会を開催させていただいた際、施設内の大きな課題があった。リージョンプラザ上越インドアスタジアムは冷暖房完備という施設ですが、冷房が役に立たない状況だった。当初のキャパを上回っていたが、非常に厳しい状況だった。館長の話では、「冷房施設を取り換えることが出来る設定となっている」とのことだが、現状では、全国、北信越の大会を持ってくるには厳しい状況にある。観客席も地域では一番大きな施設なのだが、それでも観客席が少ない。改善していくことが、これから大きな大会を持ってくる上では、大切なことだと思う。総合体育館についても、夏は暑く熱中症が心配される。施設整備が大事だと強く感じた。また、高田公園のソフトボール場は、再配置はいかくのもとづくはいししせつになるが、だいがえしせつはどうなっているのか。

【佐藤課長】

高田公園のソフトボール場については、先日の議会で承認され、12 月末で廃止させていただく。代替施設は、清里運動公園の多目的広場グラウンドで、得点板等の配置やソフトボールのベース、マウンドの固定金具を設置し、幼年野球と共有となるが、代替施設として活用できるようにしてある。

リージョンプラザと総合体育館の空調については、聞いている。リージョンにはは所管が用地管財課となっているので、伝えておく。

【石澤参事】

総合体育館は、市民のニーズも変わってきており、改善を求められているが、施設の修繕、改善については、すぐにとはいかない。意見を踏まえて考えていきたい。

【倉石委員】

重点施策に記載されているスポーツ推進委員のレベルアップとは、何をレベルアップしようとしているのか。

【佐藤課長】

スポーツ推進委員は 2 年に 1 度更新している。本年度で任期が切れて、来年 29 年から 30 年度の委員を公募することになる。ほとんどの委員が継続されているが、委員の中にも得意種目がある委員と、経験が浅い委員がいる。昨年度から、カローリング、グラウンド・ゴルフ等、市民の要望の多い種目の研修を行い、誰に声がかかっても指導できるように研修会を行っている。今後も研修会を重ねていき、スポーツ推進委員個々の資質アップを図っていきたい。

【倉石委員長】

推進委員の能力ではなく、指導の技術力のレベルアップを図るということか。

【佐藤課長】

一つはレクリエーションスポーツの指導技術向上。また、推進委員の役割には総合型地域スポーツクラブとの連絡調整がある。

【倉石委員長】

スポーツ推進委員にはたくさんの役割があり、60人以上いるスポーツ推進委員はスポーツ振興を進める上で大きな戦力となる。スポーツ推進委員に何をしてもらいたいのかを明確にし、してもらいたいことに対する研修をしていく必要がある。要望に応じて指導に行くだけでは物足りない。来年度に向けて、どのような役割を担ってもらうのか、何をしてもらうのかを定めて、選出していく必要がある。何のためにその人を選出したのかを明確にする。そうしないと選出方法にも疑問が生じる。その辺を考えてほしい

【佐藤課長】

そのように考えていきたい。

【倉石委員長】

総合型地域スポーツクラブを育成していかなければならないが、まだ理解されていない。現在組織されているところでも、理解されていないところがある。順調に運営されているクラブとそうでないクラブとでは差がある。これから立ち上げて行こうとするところでは、作った時に市からどういう支援があるのか、自分たちは何をしていけばいいのかが理解されていない。様々なケースがあると思うが、それを体育課が示すことが必要である。総合型地域スポーツクラブを設立しようとする場合、そのクラブに何をしてほしいか、それに対して、市はどのような支援をしていくのかを明確にし、次年度進めていってほしい。

【佐藤課長】

総合型地域スポーツクラブについては、中郷区に新しい組織を作るべく検討している。13区には総合型地域スポーツクラブが無いところがある。まず各区に設置していきたい。また、現行のクラブから、先般行った研修会の中で連絡調整の場を設置してほしいという意見があったので、予算の概要でも説明したが、連絡協議会を作る方向でいる。なお、本年度は、スポーツ推進委員にも声をかけて研修に広がりを持たせている。

【倉石委員長】

ぜひ、総合型地域スポーツクラブに係ってほしい。

【深石委員】

ジュニアトップアスリートを育成すると言っているが、現状では推薦された中から強化しているように思う。また、上越市にはトレーニング施設が不足しており、指導者もない。市は、企業にトレーニングを任せているように思う。食事等の指導ができるようにバックアップしてほしい。

再配置に伴って施設が無くなっているが、代替の施設もしくは、様々なスポーツが集まって競技ができるようにしてもらいたい。人口減少と施設の老朽化で、どんどん施設が無くなっていくが、アクティブスポーツの要望も多い。若者が好む新しいスポーツへの対応もお願いしたい。

【佐藤課長】

トレーニング施設は、現在柿崎、清里等にしかないが、県立武道館にはそういった施

設ができる予定だ。

育成は、体育協会を通じて各種目団体にお申し、実施しており、日体大との提携を含めて体育協会と連携して育成していく。

施設については、新しい体操アリーナの整備の他、陸上競技場もリニューアルする。維持できるところは維持し、残すところと、廃棄する施設を明確にしながら取り組んでいく。

【上野委員】

体育施設の減免の見直しがあるが、義務教育学校については減免でお願いしたい。市の基幹施設についてもお願いしたい。

【倉石委員長】

施設管理の立場から、減免の見直し段階で、部活動での問題が話題になった。テニスコート等の部活のため施設を事前に長期的に予約して、使わないことが多々あり、関係団体等からのクレームが多く、市民が使えない状況になっている。日常の部活動は、本来ならば、学校施設を使うべきだが、学校施設の整備をせずに、整備されている施設が無料で使えるからといって、長期予約をすることは、市民の理解を得ることが出来ない。

【上野委員】

日常の部活動は本来学校でやるべきであり、中体連でも話題にしていきたい。

【佐藤課長】

基幹施設の減免については今検討しているところだ。

(3) 「ジュニアトップアスリートの育成強化の概要（案）」について、佐久間生涯スポーツ指導員が資料2に基づき説明。

【西澤委員】

スポーツ振興奨励金がなくなるということですが、ジュニアの育成の中身が見えない。保護者負担の軽減とあるが、このジュニアアスリートの育成の中に保護者負担の軽減が入ってくるのか。

スキーの育成という取組を言われているが、時代の流れと、このような気候の中で無理なものは無理であり、スキー競技を支援していくというのはいかがなものか。

【佐藤課長】

予算の編成段階のため詳しいことは話せないが、支援を拡充してジュニアの育成強化をしていきたいと考えている。それにより、保護者負担が軽減するようにしていきたい。

スキーの育成については、中郷区でクロスカントリーが行われており、全中にも選手を輩出している。また、牧区でもクロスカントリーを行っており、安塚区ではアルペンが行われている。いちどきにはいかないが、中郷区のスキーから支援していきたい。環境の整っているところから支援していきたい。

【深石委員】

スポーツ活動サポート事業で平成28年度の予算立てをしてあるが、実際に申請があるのか。

【近藤係長】

記載してある金額は、当初予算の金額であるが、最終的にはすべて支出する予定である。

【深石委員】

派遣される指導者は、専門的な資格等を持っている指導者か。

【近藤係長】

小学校で要望が多いのは、陸上と水泳であり、体育協会に依頼し講師を派遣している。

【深石委員】

報償費の三千元は、回数が記載されているが、時間等の制限などはあるのか。

【佐藤課長】

授業が終わってからの活動なので、1回2時間程度となっている。

また、教職員の異動があり、予定していた学校が変わることがある。

【深石委員】

指導者が、指導技術や資格を維持していくためには、指導者講習等費用が掛かる。指導者の対価という考え方で、引き続き継続してほしい。

(4) 重点と評価の視点

第2次上越市教育総合プラン基本施策7

- ・アンケート調査への意見と体育課の回答
- ・改訂版「第2次教育総合プラン」基本施策7

審議会委員や学校関係者から寄せられた意見や要望と体育課の回答（施策1生涯スポーツ活動の充実及び施策2競技スポーツの発展）を、近藤係長が別紙資料1及び別紙資料2に基づき説明した後、施策3スポーツ環境の整備について、石澤参事が資料に基づき説明。

質疑応答なし。

(5) 今後の予定について、佐久間生涯スポーツ指導員が資料4に基づき説明。

質疑応答なし

(6) その他

ドイツ体操連盟との東京オリンピック・パラリンピック競技大会における「事前キャンプに関する覚書」の締結について、白石副課長が資料に基づき説明。

【松井副委員長】

教室等の調査で、トランポリンに関する需要が大変多い。トランポリンができる施設やそれを体験できる教室等を実施してもらいたい。

【白石副課長】

新しくできる施設は、トランポリンが2台設置される予定です。それを、活用していただければありがたい。

1 1 閉会の挨拶

【松井副委員長】

スポーツ振興によるまちづくりが叫ばれている中、ドイツ体操連盟との締結は大きな意味があることである。見ることにより子供たちが体を動かすことを始める。それを見て高齢者が元気になる。このような施策を進めていく必要がある。本日は慎重審議ありがとうございました。

1 2 問合せ先

教育委員会体育課スポーツ振興係

TEL：025-545-9246（内線 616-1330）

E-mail：taiikuka@city.joetsu.lg.jp

1 3 その他

別添の資料も併せてご覧ください。